

佐々木 享 著作目録

1996年1月現在

以下の目録は、佐々木教授のほぼすべての著作を年月日順に示したものである。現物が散逸して
頁数等が確認できなかった数点は除かれている。著書、編著書、論文等に分類した主要著作目録は
『名古屋大学教育学部紀要—教育学科』第42巻第2号、1995年度（1996年3月）に掲載されている。

1. 「技術科では何を学ばせるか」『職業教育』第10巻第10号、1959年10月、40-44頁
2. 『科学技術教育としての「技術科」の内容の検討』（第9次教育研究目黒支部集会 第4分科会報告書）1959年10月、1-5頁
3. 「技術科と視聴覚教育」『職業教育』第10巻第11号、1959年11月、7-15頁
4. 「技術科教育研究のために<文献資料>」1959年12月、1-7頁（プリント）
5. 『技術科教育の実践的課題』（日教組第9次・日高教第6次合同教育研究集会 第6分科会報告書）1961年1月、1-23頁
6. 『技術の概念規定について』（日教組第9次・日高教第6次合同教育研究集会 第6分科会報告書資料）1961年1月、1-13頁
7. 東京都教連第9次教研集会の報告「生産技術教育をめぐる諸問題」『技術教育』第90号、1960年1月、35-40頁
8. 「技術科」執筆協力（執筆者は長谷川淳）日本教職員組合編『国民のための教育課程－自主的編成の展望』1960年1月20日、138-153頁
9. 「学校教育における技術教育について」『技術教育研究会会報』第2号、1960年3月、3-5頁
10. 「技術教育をどう考えるか」『教師の友』No.78、1960年4月、90-96頁
11. 「高校からみた職業科の現状」『技術教育研究会会報』第7号、1960年8月、1-3頁
12. 「技術教育の検討／桐原葆見著『生産技術教育』を中心に」『教育評論』No.100、1960年9月、128-130頁
13. （無署名）「科学と技術の進歩」日本教職員組合・日本高等学校教職員組合『高校新教育課程の批判－自主的編成活動のために』1960年11月、46-52頁
14. 「わが国のオートメ化の実状と今後の高校教育」『技術教育研究会会報』第10号、1960年11月、1-7頁
15. 「技術科の内容討議の発展のために－緑表紙に対する“意見三つ”をめぐって」『教育評論』No.104、1960年12月、98-99頁
16. 時評 佐原すすむ（ペンネーム、原正敏と共同執筆）「青年と職業技術教育－職業技術教育

研究集会によせて」『赤旗』1961年2月23,24日

17. 「第二回職業教育研究集会」『教育』第128号、1961年5月、65-67頁
18. 「技術・家庭科」日本教職員組合編『新教科書の批判と研究 第2部 中学校編』(無署名、向山玉雄、池上正道らと共に著) 1961年6月25日、76-108頁
19. 「技術科は現代の教科として成立するか」『教育』第130号、1961年7月、22-30頁
20. 座談会「新教科書の内容および採択制度をめぐって」池上正道・坂本吉雄・向山玉雄『技術教育』No.110号、1961年9月、2-15頁
21. 「『技術と教育』を読んで」『技術教育研究会会報』第20号、1961年9月、1-4頁
22. 「科学・技術の発展と教育」『教育』第135号、1961年11月、107-112頁
23. 「科学・技術と教科の構造」『教育』第137号、1961年12月増刊号、35-47頁
24. 「青年の職業技術教育をめぐって」『技術教育研究会会報』第24号、1962年1月、1-3頁
25. 「勤労青年の学習の権利を擁護するために—れんけい教育をめぐって」『都高教研』第1号、1962年3月、13-17頁
26. 「日本資本主義の発展と職業訓練政策」、「職業技術教育にたいする要求と運動の方向」(大木一訓と共に著)、労働調査協議会編『職業技術教育と労働者』1962年5月30日、大月書店、23-57頁、214-270頁
27. 「技術科における機械學習」『技術教育研究会会報』第29号、1962年6月、1-3頁
28. 「青年と職業技術教育—第3回職業教育研究集会によせて」『教育評論』第125号、1962年5月、54-57頁
29. 「技術教育」『教育』第146号、1962年8月、31-32頁
30. 「科学技術の発展と青年教育—技術革新と教育(1)」『教育』第147号、1962年9月、42-50頁
31. 「技術と認識」『教育評論』第133号、1962年11月、80-84頁
32. 「技術教育研究の現状と課題」『現代教育科学』No.55、第5卷第12号、1962年12月、56-61頁
33. 「技術と認識(承前)」『教育評論』第134号、1962年12月、61-64頁
34. 主張「教育研究運動をすすめるにあたって考えたいこと」『教育』第150号、1962年12月、7頁
35. 分担執筆、技術教育研究会編『中学校技術科指導講座 I 総説・製図・木工』雄山閣、1962年12月25日
36. 「工業化学課程(定時制)の『機械一般』」『技術教育研究会会報』第35号、1963年1月、1-3頁
37. 原正敏と共同執筆「技術科の諸側面の歴史的構造(上)」『教育』No.152(13卷1号)、1963年1月号、8-21頁
38. 原正敏と共同執筆「技術科の諸側面の歴史的構造(下)」『教育』No.153(13卷2号)、1963年2月号、109-123頁

39. 「機械学習の展開例（案）」『技術教育研究会会報』第37号、1963年3月、2-3頁
40. 「文部教研と作業の安全について」『技術教育研究会会報』第38号、1963年4月、7-8頁
41. 「技術教育分科会に出席して」『教育』第155号、1963年4月、43-49頁
42. 時評「気にかかること」『教育』第156号、1963年5月、53-57頁
43. 「人材開発政策の法制措置のあしどり／中等教育を中心に」『教育評論』第140号、1963年5月、36-39頁
44. 「入学試験と高校教育」『技術教育研究会会報』第40号、1963年6月、1-4頁
45. 「技術科教育と生徒の安全—ふたたび木工機械をめぐって」『技術教育』第133号、1963年8月、55-61頁
46. 「技術教育研究の当面している二三の問題」『教育』第161号、1963年9月、60-63頁
47. 「技術教育と安全管理」『教育評論』第148号、1963年11月、59-63頁
48. 「技術と認識」『技術教育研究会会報』第44号、1963年11月、3-4頁
49. 分担執筆「人手不足と『人つくり政策』」塩田庄兵衛編『日本の労働問題』河出書房新社、1964年2月23日、105-116頁
50. 「技術科教師の労働条件をめぐる問題」『技術教育』第141号、国土社、1964年4月、2-10頁
51. 「技術教材と授業過程」砂沢喜代治編『講座授業研究Ⅱ－教材の系統と構造』明治図書、1964年4月号、76-90頁
52. 原正敏と共同執筆「技術科」、教育科学研究会・勝田守一編『現代教科の構造』国土社、1964年7月1日、123-166頁
53. 「授業論と教材組織論の統一」理科の授業研究・2／<共同研究>司会：佐々木享・佐藤文夫・真船和夫・遠藤豊・斎藤喜博・無着成恭・勝田守一・堀尾輝久『教育』第174号、1964年9月、33-54頁
54. 「C B A 化学と C H E M S 化学」『教育』第175号、1964年10月、45-48頁
55. 「学校経営と安全管理」(34-49頁)、「技術科教育の教材・教授法と生徒の安全」(50-64頁)、「技術科教師の労働条件をめぐる問題」(79-92頁)、原正敏編『技術科の災害と安全管理』明治図書、1964年10月、214頁
56. 「技術教育の諸問題」『教育』第178号、1964年12月増刊号、61-67頁
57. 書評「池田種生編『技術科の創意的実践』」『教育評論』第164号、1964年12月、64-65頁
58. 第15次日本教職員組合教育研究全国集会への報告書『高校職業課程における「近代化」路線と産学協同の問題』1965年1月
59. 「技術科教育研究の当面している問題」『技術教育』第150号、1965年1月、10-15頁
60. 「日経連の‘後期中等教育に対する要望’」『教育』第184号、1965年6月、74-76頁
61. 「技術科教育研究の当面している問題（承前）」『技術教育』第156号、1965年7月、48-54頁
62. 「ベトナム問題科学者集会」『技術教育』第157号、1965年8月、60-61頁

63. 「技術科における経験主義のは是正を」『現代教育科学』No.93、第8巻第10号、1965年9月、64頁
64. 「技術教育における経験主義の克服をめざして=技術教育研究会」『教育評論』第177号、1965年10月臨時増刊号、56-59頁
65. 「中学校の技術教育」『教育』第190号、1965年12月、31-53頁
66. (共同執筆) 日本教職員組合『国民のための教育の研究実践技術編』1965年12月28日、日本教職員組合、287頁
67. 「中学校の技術教育(下)」『教育』第191号、1966年1月、47-53頁
68. 「技術教育研究の視点・方法をめぐって」『教育』第192号、1966年1月増刊号、47-55頁
69. エッセイ「第9回岩手民教研集会についての感想」『会報』〔技術教育を語る会〕第50号、1966年2月15日、4-5頁
70. 「職業訓練の最近の動向」『教育評論』第181号、1966年2月、31-34頁
71. 「技術科において技術史をどうあつかうか／“原動機の歴史”を見て」『技術教育』第136号、1966年2月、50-53頁
72. 「今日の『後期中等教育改革』の諸特徴について」『教育』第195号、1966年4月、36-45頁
73. (無署名)「当面している中等教育『改革』をめぐって」日本教職員組合・高校全員入学問題全国協議会『危機にたつ後期中等教育－中等教育問題の視点No.8』1966年4月12日、15-39頁
74. 「技術科教育の性格と目標」『教育』第196号、1966年5月、40-55頁
75. 「技術科における安全問題」『技術教育』第167号、1966年6月、43-49頁
76. 「技術教育の研究とその運動」長崎県教職員組合『ながさきの教育』第22号、1966年6月、7-19頁
77. 「国民所得倍増計画と科学・技術教育政策の新しい展開」日本科学史学会編『日本科学技術史大系』第10巻、1966年6月、503-534頁
78. 分担執筆(原正敏と共に著)「第8分科会技術教育」日本教職員組合編『日本の教育第15集』日本教職員組合、1966年7月15日、165-190頁
79. 「技術教育」『教育評論』第188号、1966年7月臨時増刊号、28-29頁
80. 「日本科学者会議第一回大会」『教育』第198号、1966年7月、74-76頁
81. 「科学技術会議の『科学技術振興に関する意見』」『教育』第201号、1966年10月、91-92頁
82. 「個性・特性に応ずることと能力」『現代中学教育』第30号、1966年12月、明治図書、70-76頁
83. 原正敏と共に著『技術教育と災害問題』国土社、1966年12月5日、221頁
84. 「『後期中等教育拡充整備』の答申をめぐって」『教育評論』第194号、1966年12月、13-14頁
+96頁

85. 「技術教育の直面している諸問題／学級編成と労働条件」『教育評論』第196号、1967年2月号、61-64頁
86. 文献解題（技術科）「これだけは読んでおきたい」『教育評論』第196号、1967年2月号、67頁
87. 「『後期中等教育』の『多様化』をめぐって」『後期中等教育をすべての者に』〔全国高校生活指導研究協議会〕第23号、1967年2月、5-12頁
88. 「専門家としての教師－斎藤喜博氏の提起する問題に関連して」『現代教育科学』No. 114、第10巻第4号、1967年4月、34-40頁
89. 「技術科における安全教育とは何か」『技術教育』第179号、1967年6月、18-21頁
90. 「技術教育と思考力」砂沢喜代次編『講座子どもの思考構造3－学力の構造と思考力』明治図書、1967年6月、138-151頁
91. 「科学教育と技術教育」『技術教育』第180号、1967年7月、33-38頁
92. （無署名）「『後期中等教育改革』と労働力政策」日本教職員組合『中等教育問題の視点』No.9、1967年7月20日、5-21頁
93. 分担執筆（142-147頁）、日本教職員組合編『私たちの教育課程研究』麦書房、1967年8月5日、232頁
94. 「特殊法人日本学術振興会法の成立」『教育』第212号、1967年9月、75-77頁
95. 分担執筆（原正敏と共に著）「第8分科会技術教育」日本教職員組合編『日本の教育第16集』1967年9月25日、日本教職員組合、169-196頁
96. 「畜産科『畜産化学』の自主編成」国民教育研究所編『民主的高校教育の創造』明治図書、1967年9月、250-282頁
97. 「高校の『多様化』と高校入試の『改革』」『後期中等教育をすべての者に』〔全国高校生活指導研究協議会〕第26号、1967年11月、6-14頁
98. 「高校教育の多様化と労働力政策」『教育』第214号、1967年11月、78-80頁
99. 座談会「教育課程改訂の問題点を探る」司会：真船和夫・吉田昇・国分一太郎・中原正木『理科教室』第10巻第12号、1967年11月、6-15頁
100. 「軍国主義化と多様化」『理科教室』第10巻第12号、1967年11月、16-22頁
101. 「授業における生徒の災害と災害保障－〔授業行為は公権力の行使である〕という判決をめぐって」『教育』第215号、1967年12月、95-111頁
102. 「現代日本の科学政策」『専修大学論集』第5号、1967年12月、117-131頁
103. 分担執筆（西脇進、金子賢、本間孝明、岡敏男と共に著）化学装置製図研究会編『実用化学装置製図』1968年3月1日、工学図書 k k、183頁
104. 「ビッグサイエンスをめぐる問題」『専修大学自然科学研究』Vol.2.No.1、1968年3月、26-29頁

105. 「作業科への傾斜」『教育』第220号、1968年4月、22-23頁
106. 研究ノート「米軍資金援助と現代日本の科学／軍事研究問題への一つの覚え書」『専修大学社会科学研究所月報』NO.55、1968年4月、11-17頁
107. 「技術科教育の安全対策－文部省ついに手押かんな盤の使用禁止を指示」『教育』第221号、1968年5月、80-82頁
108. (無署名)「技術高校の実態と連携教育の拡大」日本教職員組合『中等教育問題の視点』No.10、1968年5月5日、34-100頁
109. 「技術高校・公共職訓と高校の連携」『技術教育研究会会報』第53号、1968年6月、2-3頁
110. 「産業と教育／研究の動向」『現代教育研究1 現代教育の目標』1968年6月、日本標準テスト研究会、297-315頁
111. 「技術教育」『教育評論』第217号、1968年6月臨時増刊号、42-43頁
112. 分担執筆(原正敏と共に)「第8分科会技術教育」日本教職員組合編『日本の教育第17集』1968年6月30日、一ツ橋書房、183-209頁
113. 「技術科の『中間まとめ』批判－技術科教育研究の前進のために」『技術教育』第193号、1968年8月、47-52頁
114. 「第1回全国大会の報告」『技術教育研究会会報』第54号、1968年10月、1-4頁
115. 「神岡鉱山における俘虜労働」『三井金属修史論叢』第2号、1968年12月、65-102頁
116. 「職業訓練制度改革の動向」『教育』第229号、1968年12月、97-99頁
117. 「改訂学習指導要領案を批判する－技術科を中心に」『技術教育研究会会報』第55号、1969年1月、1-4頁
118. (無署名)「近代の労働力政策の若干の特徴」日本教職員組合『高校多様化はここまでできる－中等教育問題の視点No.11』1969年1月24日、5-40頁
119. 「『生活に必要な技術』という矮小化」『教育』第233号、1969年3月、28-32頁
120. 「日本における科学・技術の移植と外国人－ベルツの日記から」『現文研』第28号、1969年3月、1-16頁
121. 「労働力政策と教育」『教育評論』第230号、1969年5月、26-30頁
122. 分担執筆「図工科」滝沢武久・竹内常一・中内敏夫編『教科経営の創造－小学校六年生』国士社、1969年6月10日、120-143頁
123. 「技術・家庭科の男女差別に反対しよう(1)」『技術教育』第203、1969年6月、34-39頁
124. 「技術科の授業研究についての覚書」『技術教育研究会会報』第57号、1969年6月、1-2頁
125. 「技術・家庭科の男女差別に反対しよう(2)」『技術教育』第204号、1969年7月、45-50頁
126. 「技術教育」『教育評論』第233号、1969年7月臨時増刊号、37-38頁
127. 「厳しさを耐えぬく力」『現代教育科学』No.141、第12巻第7号、1969年7月、33-36頁
128. 分担執筆(原正敏、田沼肇と共に)「第8分科会技術教育」日本教職員組合編『日本の教育

第18集』一ツ橋書房、1969年8月5日、203-232頁

129. 「後期中等教育再編成と技術者養成」『看護教育』第10巻第9号別冊、1969年9月、23-29頁
130. 「職業訓練法の全面改正について」『技術教育研究会会報』第58号、1969年9月、3-4頁
131. 「つめこみを排し、科学を系統的に」『教育評論』第237号、1969年10月臨時増刊号、49-52頁
132. 「工作教育—ふたたび『教科』とは何かについて」『教育』第240号、1969年10月、97-104頁
133. 「職業訓練法の全面的改正」『教育』第241号、1969年11月、51-54頁
134. 「教科書研究／工作・小=驚くべき製図教育の貧困さ—技術教育の観点からみて」『教育評論』第238号、1969年11月、82-84頁
135. 座談会「総学習運動にまなぶ」司会：望月宗明・深山正光・橋本章男・福島昭男『教育評論』第238号、1969年11月号、16-25頁
136. 研究ノート「戦時労働力政策の二、三の問題」特定研究『日本の近代化研究報』NO.11、専修大学社会科学研究所、1969年11月、6-13頁
137. 長谷川淳・原正敏と共に著「技術教育」『講座現代民主主義教育－4・学校教育』青木書店、1969年12月、198-221頁
138. 「技術科の授業研究について」『技術教育』第210号、1970年1月、19-24頁
139. 「理産振、職業高校の情報処理教育推進を建議」『教育』第244号、1970年2月、108-110頁
140. 「技教研創立10周年に思う」『技術教育研究会会報』第60号、1970年2月、1-2頁
141. 資料『雑誌「科学主義工業」総目次』専修大学社会科学研究所、1970年3月、74頁
142. 「教育のシステム化と民主教育」『現代教育科学』No.153、第13巻第7号、1970年7月、34-37頁
143. 分担執筆（原正敏と共に著）「第8分科会技術教育」日本教職員組合編『日本の教育第19集』労働旬報社、1970年7月10日、219-243頁
144. 「日本鉱業会の創立をめぐって」『専修自然科学紀要』第3号、1970年、31-44頁
145. 「技術科教材論序説」『教育』第253号、1970年9月、75-83頁
146. 「和田維四郎小伝（上）」『三井金属修史論叢』第四号、1970年9月、35-74頁
147. 「『教育の機械化』の意義と限界」『現代教育科学』No.156、第13巻10号、1970年10月、9-12頁
148. 「『教育の機械化』と生きがいの問題」『現代教育科学』No.158、第13巻12号、1970年12月、53-58頁
149. 分担執筆『神岡鉱山史』三井金属鉱業株式会社、1970年12月25日、728頁
150. 「教科書訴訟と沖縄問題と—全国教研に参加して」『技術教育研究会会報』第64号、1971年1月、1-2頁
151. 「全総訓の第三回職業技術教育研究集会」『教育』第259号、1971年2月、88-91頁

152. 「和田維四郎小伝（中）－鉱業条例をめぐって」『三井金属修史論叢』第6号、1971年4月、97-130頁
153. 史料紹介（坂牧三郎と共に編）「神岡鉱山茂住坑・石川飯場『職夫勘定帳』（上）」同上誌、同号、317-344頁
154. 「春季研究会成功裡に開かれる」『技術教育研究会会報』第66号、1971年5月、1-3頁
155. 分担執筆（原正敏と共に著）「第12分科会技術教育」日本教職員組合編『日本の教育20』日本教職員組合、1971年5月15日、315-339頁
156. 誌上座談会、田沼肇、佐藤徹、湯浅克孝、高邑猛、橋本三郎、大木一訓、子上昌幸（佐藤徹のペンネームで参加）「〔シンポジウム〕職業訓練と労働組合運動(1)～(4)」『労働・農民運動』No.63、1971年6月号、84-98頁、No.65、1971年8月号、154-163頁、No.66、1971年9月号、129-143頁、No.69、1971年12月号、205-219頁
157. 「岡邦雄先生の想い出に」『技術教育研究会会報』第67号、1971年6月、6-8頁
158. 「日本鉱業会創立の意義と背景」『日本鉱業会誌』第87号、1971年6月、445<9>～448<12>頁
159. 「家庭、技術・家庭科の観点と趣旨の問題点」『現代教育科学』第165号、1971年7月、57-60頁
160. 「中教審答申をつらぬく経済合理主義」『教育』第266号、1971年8月増刊号、12-20頁
161. 「職業訓練と労働組合運動－職業訓練国際シンポジウムに参加して」『賃金と社会保障』、1971年8月、10-28,19頁
162. 「職業訓練に関する国際シンポジウム」『教育』第267号、1971年9月、122-124頁
163. 「職業訓練に関する国際シンポジウムに参加して」『技術教育研究会会報』第68号、1971年9月、6-7頁
164. 「<紹介>中村静治『技術革新と日本経済』」『技術教育研究会会報』第69号、1971年11月、11-12頁
165. 「技術科教育を前進させるために」『教育評論』第267号、1971年11月、74-76頁
166. 史料紹介（坂牧三郎と共に編）「神岡鉱山茂住坑・石川飯場『職夫勘定帳』（下）」『三井金属修史論叢』第6号、1971年11月20日、157-208頁
167. 「和田維四郎小伝（下）」同上誌、同号、89-144頁
168. （共同執筆）日本教職員組合編『私たちの教育課程研究技術教育』1971年11月20日、一ツ橋書房、198頁〔佐々木の分担は I-2、II-1、III-4、IV-2-(1)〕
169. 「技術科教育と『生活』の問題－技術科の目標の検討（その1）」『技術教育研究』創刊号、1972年1月、24-34頁
170. 「六・三・三制と私」『教育』第274号、1972年3月、76-79頁
171. 「学校災害補償について」『教育権保障の理論と実態－日本教育法学会年報第1号』、1972年

3月30日、有斐閣、100-107頁

172. 「総合技術教育とは何か」『高校生活指導』第60号、1972年4月、191-205頁
173. 「技術教育における災害の統計」『技術教育研究会会報』第73号別冊、1972年5月、わら半紙7枚
174. (無署名)「職業訓練の権利についての自覚の発展」日本教職員組合『教育機器・高校総合制・職業訓練－中等教育問題の視点No.13』1972年5月10日、41-71頁
175. (佐藤徹のペンネームで執筆)「職業訓練と労働組合運動」『労働・農民運動』No.75、1972年6月号、94-107頁
176. 分担執筆(原正敏と共に)「第12分科会技術教育」日本教職員組合編『日本の教育21』日本教職員組合、1972年6月、277-308頁
177. 「憲法・教育基本法と職業訓練」『技術教育研究会会報』第74号、1972年7月、2-3頁
178. 「小学校六年の金属加工学習について」『技術教育研究』第2号、1972年7月、92-94頁
179. 提言『学災法制定運動促進のための一つの提案』、学災法制定促進全国協議会総会(於大宮市民会館)、1972年10月9日、2頁
180. 原正敏と共に編著『技術科教育法』学文社、1972年10月30日、311頁
181. 「労働組合が自治体に技術教育を実施させたユニークな経験」『技術教育研究会会報』第76号、1972年11月、4頁
182. 「労働組合と企業内教育・職業訓練」『月刊労働問題』第176号、日本評論社、1972年11月、3-11頁
183. 「職業訓練－それを受ける権利をめぐって」小川利夫・永井憲一・平原春好編『教育と福祉の権利』勁草書房、1972年11月、249-282頁
184. 資料「労働者の権利としての職業訓練を発展させるために」労働政策研究会、1972年12月、23頁
185. 「教育を受ける労働者の権利－有給教育休暇をめぐって」『教育』第284号、1972年12月、108-112頁
186. 「『教育を受ける権利』と職業訓練－能力の問題によせて」『教育学研究』第39卷第4号、1972年12月、42-49頁
187. 分担執筆「科学・技術政策と教育」中村靜治編『現代技術論』1973年1月30日、有斐閣、259-276頁
188. 「職業訓練と労働者－教育基本法との関連で」『教育評論』第286号、1973年3月、61-64頁
189. 「事業内職業訓練と公共職業訓練」『専修大学人文科学研究所月報』第29号、1973年3月、14-19頁
190. 「技術科授業中の負傷と国家賠償」『別冊ジュリスト』第41号、1973年4月、124-126頁
191. 実態調査報告(依田有弘、山崎昌甫と共同執筆)、日本鉄鋼産業労働組合連合会『最近の鉄

鋼産業における職業訓練』1973年5月、80頁

192. 「第6回全国大会の成功のために」『技術教育研究会会報』第80号、1973年6月、1-2頁
193. 「自主編成テキストの作製をめぐる諸問題」『技術教育研究会会報』第80号、1973年6月、4-6頁
194. 分担執筆（原正敏、佐藤裕二と共に）「第8分科会技術教育」日本教職員組合編『日本の教育22』日本教職員組合、1973年8月20日、277-308頁
195. 「教育の民主主義的発展と技術教育・職業訓練－教育制度検討委第三次報告をめぐって」『技術教育研究』第4号、1973年8月、1-8頁
196. 「地域の技術史研究をすすめよう」『技術教育研究会会報』第83号、1973年12月、1-6頁
197. 「総合制の原則をめぐって」『教育』第298号、1974年1月、57-66頁
198. 「総合制の原則をめぐって（二）」『教育』第299号、1974年2月、90-103頁
199. 座談会「教科研運動の総括－これまでとこれから」宇田川宏・大田亮・大槻健・小沢有作・坂元忠芳・中内敏夫・藤岡貞彦・山住正己・堀尾輝久『教育』第300号、1974年3月、45-79頁
200. 「労働者の、教育をうける権利についての一考察」『人文科学年報』第4号、1974年3月、19-30頁
201. 「小花冬吉小伝覚書」『専修自然科学紀要』第7号、1974年3月、27-44頁
202. （分担執筆）技術教育研究会編『総合技術教育と現代日本の民主教育』1974年4月、鳩の森書房、221頁
203. 「現代日本の民主教育における労働の意義」『技術教育研究』第6号、1974年5月、24-31頁
204. 「熟練工論争の背景とその帰結－憲法・教育基本法体制における職業技術教育の位置づけに関する研究（II）」（依田有弘と共同執筆）『日本社会教育学会紀要』第10号、1974年6月、34-43頁
205. 分担執筆（西脇進、金子賢、本間孝明、岡敏男と共に）化学装置製図研究会編『改訂版実用化学装置製図』工学図書KK、1974年6月1日、184頁
206. 「渡辺渡の生涯と日本鉱業会」『日本鉱業会誌』第90号、1974年7月、441<1>-453<13>頁
207. 「総合制の原則の意義をめぐって」『技術教育研究会会報』第87号、1974年7月、2-5頁
208. 分担執筆（原正敏、佐藤裕二と共に）「第8分科会技術・職業教育」日本教職員組合編『日本の教育23』日本教職員組合、1974年8月30日、185-209頁
209. 「『理科教室』への期待と注文」『理科教室』第17巻第9号、1977年9月、20-21頁
210. 「京都府の総合制についての感想」『技術教育研究会会報』第90号、1974年12月、10-13頁
211. 「高校教育の民主的改革をどう構想するか“地域総合高校構想”批判」『技術教育研究』第7号、1975年1月、49-50頁

212. 「展望：近代日本技術教育史」『科学史研究』第114号、1975年4月、49-54頁
213. 「諸外国の技術教育・職業訓練の研究について」『技術と教育』第93号、1975年5月、7-9頁
214. 「労働の教育と現行教育課程の問題点－小・中・高の技術科必修構想をめぐって」『現代教育科学』No.213、第18卷第6号、1975年6月、52-61頁
215. 分担執筆（原正敏、佐藤裕二、向山玉雄、山脇与平と共に）「第8分科会技術・職業教育」日本教職員組合編『日本の教育第24』日本教職員組合、1975年6月10日、183-206頁
216. 「<中央線沿線あんない>製糸技術史の宝庫＝岡谷蚕糸博物館」『技術と教育』第95号、1975年7月、13-14頁
217. 著書〔パンフレット〕『子どもの学校災害とその救済』日本母親大会連絡会、1975年7月、28頁
218. 「<基調報告>技術教育・職業教育の民主的発展をめざして」『技術と教育』第96号、1975年8月、2-3頁
219. 「働く権利と教育－ゆたか作業所に学ぶ」『技術教育研究』第8号、1975年8月、57-60頁
220. 「教育課程改訂の動きをめぐって」『技術と教育』第99号、1975年12月、10-11頁
221. 「職業高校の当面している問題」『技術教育研究』第9号、1976年1月、47-55頁
222. 「技術論論争と技術教育」『技術と教育』第100号、1976年1月、3-4頁
223. 「現代の民主的教育改革－高校教育義務化を展望する義務教育年限延長問題をめぐって」大月書店編集部編『現代の労働組合運動』第6集、大月書店、1976年3月、28-66頁
224. 「学校事故による被災者の救済問題」『戦後教育と憲法・教育法日本教育法学会年報第5号』有斐閣、1976年3月25日、108-113頁
225. 「『総合制』をめぐる二、三の問題－池上さんの文章に関連して」『技術教育』第285号、1976年4月、22-24頁
226. 「高等学校沿革史・記念誌目録稿（その一・増訂篇）」『青年期教育研究』第5号別刷、1976年5月、65-99頁
227. 著書『高校教育論』大月書店、1976年5月26日、232頁
228. 分担執筆（原正敏、向山玉雄、山脇与平と共に）「第8分科会技術・職業教育」日本教職員組合編『日本の教育第25集』一ツ橋書房、1976年6月10日173-194頁
229. 「高校職業教育をめぐる最近の諸問題」『技術と教育』第104号、1976年7月、5-7頁
230. 「技術論争と技術教育」『技術教育研究』第10号、1976年8月、11-17頁
231. 「普通科高校における職業教育」『月刊・高校教育』第9卷11号、1976年8月号、50-55頁
232. 「高校職業教育の教育課程」『技術と教育』第105・106合併号、1976年10月、3-4頁
233. （無署名）「高校の工業教育の教育課程改革についての覚書」日本教職員組合『高校教育改革と教育実践』1976年10月5日、81-113頁
234. 「高校教育課程改訂の特徴と問題点」『日本の民間教育』1976年11月臨時増刊号、28-35頁

235. 「技術教育・職業教育研究の前進」『教育』第337号、1976年11月、67-72頁
236. 高校教育問題シンポジウム「あるべき高校教育への道すじと展望」岐阜県高等学校教職員組合『岐阜の高校教育』第3号、1976年11月、23-37頁
237. (分担執筆) 中央教育課程検討委員会報告『教育課程改革試案』一ツ橋書房、1976年12月20日、337頁〔佐々木の担当はII-16で、隈部智雄、河野義顯、向山玉雄、森下一期の諸氏の協力を得た〕
238. 「工業科の『共通基礎学習』のとり組についての感想」『技術教育研究』第11号、1977年1月、24-26頁
239. 「高校教育課程改訂の問題点」『技術教育研究』第11号、1977年1月、54-59頁
240. 「高校の能力・適性・進路に応ずる弾力的編成」『現代教育科学』No.236、第20巻第2号、1977年1月、108-111頁
241. 「事務局長退任のことば」『技術と教育』第108号、1977年1月、10-11頁
242. 「着実に前進している授業実践—全国教研集会の感想」『技術と教育』第109号、1977年3月、12-13頁
243. 「高校普通科の教育課程における中等教育観に関する覚書」『名古屋大学教育学部紀要—教育学科』第23巻、1977年3月、123-131頁
244. 「地域の技術史研究をめぐって」『技術と教育』第110号、1977年4月、9-11頁
245. 「高校普通科で職業教育を課す場合の問題点」『技術と教育』第111号、1977年5月、10-11頁
246. (分担執筆)(原正敏、向山玉雄、山脇与平と共に著)「第8分科会技術・職業教育」日本教職員組合編『日本の教育第26集』一ツ橋書房、1977年5月31日、179-205頁
247. 「学校事故をめぐる法律問題」『体育科教育』1977年6月、2-7頁
248. 書籍紹介「こだま健次著『親の願いにこたえる教育を』」『日高教情報』、1977年6月1日
249. 「地域の技術史」『技術と教育』第112号、1977年7月、7-8頁
250. 隨想「高校教育の民主的発展／共産党の『教育改革への提言』をよんで」『赤旗』、1977年8月23日
251. 「日本学校安全会法成立の背景」学校事故研究会編『学校事故の法制と責任』総合労働研究所、1977年10月10日、144-303頁
252. 「学校災害と日本学校安全会法」同上書、225-243頁
253. 「技術教育と児童生徒の災害」同上書、279-303頁
254. 「現代日本における中等教育研究の諸課題覚書—“高校教育学”の構想に関連して」『日本教育方法学会課題研究発表会資料』1977年10月15日、1-17頁
255. 「高校史の編纂について」全国商業教育研究協議会『国民のための商業教育』第17号、1977年10月、58-64頁

256. 「技術論・技術学」『技術と教育』第113・114合併号、1977年10月、7頁
257. 「高校入試制度改革の基本問題（上）」『教育』第349号、1977年10月、43-52頁
258. 「高校入試制度改革の基本問題（下）」『教育』第350号、1977年11月、82-90頁
259. 「高校職業教育個性化の現実と課題」日本産業教育学会第2回中部地区研究会資料、1977年
12月10日
260. 「相原さんの『農業一般』について」『技術教育研究』第13号、1978年1月、32-35頁
261. 「高校の学習指導と進路指導」『技術教育研究』第13号、1978年1月、59-62頁
262. 「改訂高校学習指導要領の問題点—専門教育関係を中心に」『技術教育研究』第14号、1978
年8月、33-40頁
263. 「産業遺物の保存と博物館」『三井金属修史論叢』第十号、1978年3月、383-396頁
264. 「高校教育の目的に関する一考察」『名古屋大学教育学部紀要—教育学科』第24巻、1978年3
月、77-86頁
265. 図書紹介「倉内史郎・神山順一・関口義『各種学校（専修学校）カリキュラムの研究』（野
間教育研究所紀要第39集）『教育学研究』第45巻第1号、1978年3月、68-69頁
266. 分担執筆「実験・実習中の事故を防ぐために」伊藤進、兼子仁、永井憲一編『必携学校事故
ハンドブック』総合労働研究所、1978年4月16日、87-58頁
267. 対談：浜田陽太郎「岡山秀吉」浜田陽太郎・石川松太郎・寺崎昌男編『近代日本教育の記録』
日本放送出版協会、1978年4月、323-341頁
268. （分担執筆）（原正敏、向山玉雄、山脇与平と共に著）「第8分科会技術・職業教育」日本教職
員組合編『日本の教育第27集』一ツ橋書房、1978年5月25日、195-221頁
269. 「実習中の事故」『法学セミナー』通巻第278号、1978年5月号別冊付録、75-79頁
270. 解説「職業教育」細谷俊夫・奥田真丈・河野重男編『教育学大事典』1978年7月、409-413
頁
271. 「改訂高校学習指導要領の問題点—専門教育関係を中心に」『技術教育研究』第14号、1978
年8月、33-40頁
272. 「技術—かげの薄い一貫性と工作教育の軽視」『別冊国民教育② 新学習指導要領読本』1978
年8月、176-182頁
273. 講演記録「民主的な高校教育改革の課題—総合制の問題をめぐって」第22回島根県高等学校
教育研究集会、1978年9月、31頁
274. 「高校教育」「企業内教育」室井力・鈴木英一編『教育法の基礎』青林書院新社、1978年10
月、126-128頁、328-329頁
275. 「高校学習指導要領の問題点」『日本の民間教育』第20号、1978年10月、118-127頁
276. 図書紹介「黒岩俊郎・玉置正美『産業考古学入門』」『技術と教育』第124号、1979年1月、13
頁

277. 図書紹介「須藤敏昭『遊びと労働の教育』」『技術教育研究』第15号、1979年1月、49-50頁
278. 「勤労体験学習の意味するものー小・中・高中学習指導要領で強調された背景」『現代教育科学』第263号、1979年1月、95-103頁
279. 「新学習指導要領と高校教育の課題ー国民教育の方向をさぐる」『愛知の高校教育』第12号、1979年1月、56-67頁
280. 「技術・職業教育」『講座現代の高校教育ー3・教科と授業（その二）』草土文化、1979年3月、114-141頁
281. 「高校職業教育の実践と研究の到達点ー技術・職業教育分科会に参加して」『高教組時報』第37号、1979年3月、42-48頁
282. 「高校教育における選択制と生徒の学習権ー大学入試制度との関連で」日本教育法学会第9回総会発表資料、1979年4月1日、17頁
283. 「高校学習指導要領とー青年期教育の今日的課題」大阪市立高等学校教育研究会、1979年4月、2-16頁
284. 「戦後高校教育の理念と展開」田代三良・木下春雄・竹内常一編『講座現代の高校教育 6 現代高校教育論』草土文化、1979年5月、39-69頁
285. （分担執筆）（原正敏、向山玉雄、佐藤裕二と共に著）「第8分科会技術・職業教育」日本教職員組合編『日本の教育第28集』一ツ橋書房、1979年5月25日、193-217頁
286. 「<資料紹介>工業高校の教育目標について」『進路指導研究』第61号、1979年5月、27-33頁
287. 著書『高校教育の展開』大月書店、1979年5月23日、262頁
288. 「大学入試制度と高校教育（上）」『教育』第372号、第29巻第6号、1979年6月、106-117頁
289. 「大学入試制度と高校教育（下）」『教育』第373号、第29巻第7号、1979年7月、94-110頁
290. 「教育をとらえ直す」『教育』第373号、第29巻第7号、1979年7月、58-59頁
291. 「分野別テーマ別書籍案内③学校事故をめぐって」『月刊あすの教育』第3号、1979年7月、84-85頁
292. 「工業高校四年制論の学校制度論的問題点」『技術教育研究』第16号、1979年8月、28-33頁
293. 「教育制度としての大学入試制度ー戦後における大学入試制度と高校教育」『日本教育学会大会課題研究発表要旨』於九州大学、1979年8月29日、10頁
294. 「技術科授業中の負傷と国家賠償」『別冊ジュリスト』第64号、1979年9月、教育判例百選（第二版）、128-130頁
295. 「総合技術教育の思想と技術教育・労働教育」『講座日本の学力・8ー技術／身体』株式会社日本標準、1979年11月10日、419-427頁
296. 資料「学習指導要領の刊行目録」『名古屋大学教育学部紀要－教育学科』第26巻、1980年3月、197-212頁

297. 「高校教育における選択制と生徒の学習権－大学入試制度との関連で」日本教育法学会編『子どもの権利と教育法』有斐閣、1980年3月、92-103頁
298. 著書『和田維四郎－日本鉱山学の先駆者』小浜市立図書館、1980年3月10日、77頁
299. 「高校教育における選択制と生徒の学習権－大学入試制度との関連で」『子どもの権利と教育法』日本教育法学会年報第9号、1980年3月20日、92-103頁
300. 「教育制度としての大学入試」日本教育学会入学試験制度研究委員会『入学試験制度の教育学的研究』第五集、1980年4月、1-6頁
301. 「青年の人生選択と高校教育」『高教組時報』第41号、1980年4月、47-68頁
302. 書評「柴田義松・長尾十三二・吉田昇編『中等教育原理』」『教育』第384号、1980年5月、64-65頁
303. (分担執筆) (原正敏、鈴木芳夫、佐藤裕二と共に著)「第8分科会技術・職業教育」日本教職員組合編『日本の教育第29集』一ツ橋書房、1980年5月24日、207-229頁
304. 「子供達の夢を育てる青年技術者センター訪問記」『技術教育研究』第18号、1980年8月、30-37頁
305. 「高校教育内容の法制的研究」日本教育法学会編『講座教育法3・教育内容と教育法』総合労働研究所、1980年8月、197-218頁
306. 「中等職業技術学校」『技術教育研究』第18号、1980年8月、30-37頁
307. 「高校普通科における職業教育を考える」『月刊高校教育』第13巻15号、1980年11月、20-29頁
308. 「学校教育法の成立過程(Ⅰ)」『専修大学社会科学研究所月報』第207号、1980年11月、1-24頁
309. 「学校教育法の成立過程(Ⅱ)」『専修大学社会科学研究所月報』第208号、1980年12月、1-23頁
310. 「大学入試制度をめぐる諸問題(Ⅰ)」『文研ジャーナル』第184号、1980年12月、6-9頁
311. 「技術科における男女差別問題－いわゆる相互乗入れに関連して」『技術と教育』第139号、1981年1月、3-6頁
312. 「技術科の授業研究について」『技術教育研究』第19号、1981年1月、1-4頁
313. 「大学入試制度をめぐる諸問題(Ⅱ)」『文研ジャーナル』第186号、1981年2月、5-8頁
314. 「心配なこのごろの教育界」『朝日新聞』、1981年2月28日
315. 「学級と半学級－教研集会に学び、考える」『教育』第395号、1981年3月、26-31頁
316. 「職業高校生の大学進学問題」『技術と教育』第141号、1981年4月、10-13頁
317. 「勤労体験学習と現代の高校教育」『高校教育展望』第6巻第1号、1981年4月、24-29頁
318. 「工業教育の当面する課題と展望」『高校教育研究サークル』、1981年5月、1-32頁
319. (分担執筆) (原正敏、鈴木芳夫、向山玉雄と共に著)「第8分科会技術・職業教育」日本教職

員組合編『日本の教育 第30集』一ツ橋書房、1981年5月29日、239-264頁

320. 「大学入試の基本原則とは何か」『大学進学研究』第17号、1981年6月、4-10頁
321. 書評「向山玉雄著『新しい技術教育論』」『教育実践』第31号、1981年7月、106-107頁
322. 「技術教育の歴史と課題－技術教育研究の課題にそって」『技術教育研究』第20号、1981年8月、1-9頁
323. 「技術教育の歴史と課題」『技術教育研究』第20号、1981年8月、1-9頁
324. 「改訂学習指導要領と高校・大学の接続関係－大学入試に関連して」『一般教育学会誌』第3卷 第2号(通卷第4号)、1981年11月、39-45頁
325. 「子ども・青年の発達と父母・住民の教育参加」『教育』第405号、1981年11月増刊号、146-149頁
326. 「高校におけるホームルームの成立」『高等学校各科研修会研修要録－昭和56年度』名古屋市教育センター、1981年11月、45-50頁
327. 「高校教育課程の改訂と共に一次入試科目の改訂」『教育』第406号、1981年12月、122-127頁
328. 「高校教育課程のあゆみ」『学校図書館』第375号、1982年1月、14-18頁
329. 研究ノート「職業学校のこと」『朝日新聞』1982年1月9日
330. 「共通一次入試の現状と問題点」『県大教員組合新聞』第61号、1982年1月、4-13頁
331. 「高校教育の拡張と能力主義教育政策－1960年代の高校教育をめぐって」小川利夫・江藤恭二編『現代学制改革の展望』福村出版、1982年6月、131-161頁
332. (分担執筆)(原正敏、鈴木芳夫、向山玉雄と共に著)「第8分科会技術・職業教育」日本教職員組合編『日本の教育第31集』一ツ橋書房、1982年6月1日、227-249頁
333. 「矢川徳光先生のご逝去を悼む」『技術と教育』第151号、1982年6月、8-9頁
334. 「共通一次試験以降の入試」『進ゼミ情報』第23号、1982年7月、103-107頁
335. 「高校における学年制と単位制」『高校生活指導』第63号、1982年8月、95-107頁
336. 「高校職業教育の当面する課題」『高校教育展望』1982年8月、48-53頁
337. 「職業技術学校とその教育内容」『技術教育研究』通卷第22号、1982年8月、54-59頁
338. 研究発表資料「雑誌『手工研究』について」日本産業教育学会第23回大会、1982年10月、1-17頁
339. 「<見学会>中央鉄道学園見学記」『技術と教育』第152、153号合併号、1982年10月、23-24頁
340. 「進路指導問題と教育改革」『教育』第418号、1982年11月、70-73頁
341. 「戦後日本の大学入試制度の歴史」日本教育学会入試制度研究委員会編『大学入試制度の教育学的研究』東京大学出版会、1983年2月、35-57頁
342. 「共通一次試験を中心とする入試制度改革に関する考察と意見」日本教育学会入試制度研究

委員会編『大学入試制度の教育学的研究』東京大学出版会、1983年2月、291-312頁

343. 分担執筆「解説」(井上知則、井深雄二、大橋基博、小野田正利、近藤正春、三羽光彦、鈴木英一、中嶋哲彦、夏目達也、堀内達夫、横尾恒隆と共に編)名古屋大学教育学部教育行政及び制度研究室・技術教育学研究室編『学校教育法成立史関係資料』1983年3月、205頁
344. 解説「中等教育論・教員養成論」『阿部重孝著作集』第4巻、日本図書センター、1983年3月
345. 「中学校(新制)の目的について—学校教育法の成立過程に関連して」『名古屋大学教育学部紀要—教育学科』第29巻、1983年3月、235-250頁
346. 資料「敗戦前に文部省が調査・刊行した教育統計書・一覧等の目録(I)」(井上知則と共同執筆)『名古屋大学教育学部紀要—教育学科』1983年3月、271-361頁
347. 「中学校論を」『教育』第424号、1983年4月、62-65頁
348. (分担執筆)(原正敏、鈴木芳夫、向山玉雄と共に著)「第8分科会技術・職業教育」日本教職員組合編『日本の教育第32集』1983年6月1日、一ツ橋書房、207-229頁
349. 「大学受験と高校教育」『啓林』第12号、1983年9月、5-7頁
350. 「学校教育法案の形成過程—学校教育法諸草案の特徴と変遷を中心に」(大橋基博と共同執筆)『教育学研究』第50巻第4号、1983年12月、41-50頁
351. 「大学入試の期日をめぐる問題(上)」『教育』第434号、1984年1月、99-111頁
352. 「大学入試の期日をめぐる問題(下)」『教育』第435号、1984年2月、102-114頁
353. 「中等教育改革と職業教育の位置—第二次教育制度検討委員会報告を読んで」『技術教育研究』第24号、1984年2月、28-35頁
354. 「学校教育法の成立過程の総合的研究」(井深雄二、大橋基博、小野田正利、近藤正春、三羽光彦、中嶋哲彦との共同研究)『教育改革の動向と教育法』有斐閣、1984年3月10日、199頁
355. 「学校教育法の成立過程の総合的研究(その2)」(鈴木英一、近藤正春、井深雄二、堀内達夫、大橋基博、井上知則、小野田正利、三羽光彦、横尾恒隆、夏目達也、加藤繁美との共同執筆)『名古屋大学教育学部紀要—教育学科』第30巻、1984年3月、385-429頁
356. 「官立実業専門学校の入学試験制度の歴史—盛岡高等農林学校の例を中心にして」『名古屋大学教育学部紀要—教育学科』第30巻、1984年3月、223-303頁
357. 「学校教育法の成立」『講座日本教育史・4 現代I／現代II』第一法規出版、1984年4月、332-356頁
358. (分担執筆)(原正敏、鈴木芳夫、向山玉雄と共に著)「第8分科会技術・職業教育」日本教職員組合編『日本の教育第33集』1984年6月1日、一ツ橋書房、215-240頁
359. 「大学・専修・各種学校—子どもの生き方と進路」『みんなの話しあいのために—第30回日本母親大会討議資料』1984年7月、43-44頁
360. 書評「研究の谷間を埋める労作—教科書研究センター編『旧制中学校教科書内容の変遷』」

『教育新聞』1984年7月30日

361. 書評「天野郁夫著『教育と選抜』、同『試験の社会史—近代日本の試験・教育・社会』」『教育学研究』第51巻第3号、1984年9月、329(81)-331(83)頁
362. 隨想「六・三・三制の誕生」『日高教情報』1984年9月11日
363. 隨想「健保、安保と教育改革」『日高教情報』1984年10月21日
364. 隨想「教育改革に関する情報」『日高教情報』1984年11月11日
365. 著書『大学入試制度』大月書店、1984年11月6日、213頁
366. 「わが国の大学入試制度の変遷」『日本の科学者』第19巻第11号、1984年11月、606<2>-611頁<7>
367. 解説「技術教育」『平凡社大百科事典』第3巻、1984年11月、1273-1274頁
368. 解説「鯉淵学園」『平凡社大百科事典』第5巻、1984年11月、241頁
369. 隨想「教育改革に関する情報」『日高教情報』1984年11月11日
370. 「高校職業教育改革の動向—中教審報告・理産審『審議のまとめ』を中心にしてー」『技術教室』No.389、1984年12月、4-9頁
371. 「高校における職業教育の展望と課題」『北海道の職業教育』第9集、1984年12月、1-16頁
372. 隨想「黒塗り教科書」『日高教情報』No.966、1984年12月21日
373. 隨想「臨教審のいう『自由化』」『日高教情報』1985年2月21日
374. 隨想「大学進学率」『日高教情報』1985年3月21日
375. 解説「産業教育」『平凡社・大百科事典』第6巻、1985年3月、451頁
376. 解説「資格制度」『平凡社・大百科事典』第6巻、1985年3月、675-676頁
377. 解説「実業学校」『平凡社・大百科事典』第6巻、1985年3月、940頁
378. 解説「実業教育」『平凡社・大百科事典』第6巻、1985年3月、941頁
379. 解説「札幌農学校」『平凡社・大百科事典』第6巻、1985年3月、294-295頁
380. 解説「職業教育」『平凡社・大百科事典』第7巻、1985年3月、602-603頁
381. 解説「職業訓練校」『平凡社・大百科事典』第7巻、1985年3月、604頁
382. 解説「商船学校」『平凡社・大百科事典』第7巻、1985年3月、456頁
383. 解説「総合技術教育」『平凡社・大百科事典』第8巻、1985年3月、873頁
384. 解説「専門学校」『平凡社・大百科事典』第8巻、1985年3月、830頁
385. 解説「東京工業大学」『平凡社・大百科事典』第10巻、1985年3月、552頁
386. 「<資料>高校職業教育の学科多様化の様相」『技術と教育』第173号、1985年4月、13-14頁
387. 「大学入試の歴史（第1回）旧学制下の高等教育機関の入試」『大学進学研究』第37号、1985年5月、69-73頁
388. 「高校職業教育多様化の問題をめぐって—理産審答申を中心に」『高教組時報』No.60、1985

年5月、13-22頁

389. 解説「一つ橋大学」『平凡社・大百科事典』第12巻、1985年6月、553頁
390. (分担執筆)(原正敏、鈴木芳夫、向山玉雄と共に著)「第8分科会技術・職業教育」日本教職員組合編『日本の教育第34集』1985年6月5日、一つ橋書房、205-225頁
391. 「産業教育100年に想う」『技術と教育』第175号、1985年7月、1-2頁
392. 「大学入試の歴史(第2回) 東京工大の入試の歴史」『大学進学研究』第38号、1985年7月、51-55頁
393. 「大学入学資格の弾力化」『季刊教育法』第57号、1985年7月、98-103頁
394. 「現代の技術教育の課題を考える」第18回全国大会記念講演、技術教育研究会、1985年8月、8頁
395. 「選別体制を拡大する共通テスト」『教育』第456号、1985年8月増刊号、115-121頁
396. 隨想「選抜体制強化のおそれ—臨教審の「共通テスト」—」『機関紙連合信・隔日版』第4963号、1985年8月27日、9-10頁
397. 「大学入試の制度を考える—歴史的視点から」日本教育学会教育制度研究委員会編『教育改革の諸問題』第2集、1985年9月、11-19頁
398. 「大学入試の歴史(第3回) 旧制高校の入試の歴史(1)」『大学進学研究』第39号、1985年9月、45-50頁
399. 「大学入試制度の歴史と教訓」『文化評論』No.294、1985年9月、78-87頁
400. 「技術・職業教育の理論」小川利夫・柿沼肇編『戦後日本の教育理論下』ミネルヴァ書房、1985年11月、76-93頁
401. 「大学入試の歴史(第4回) 旧制高校の入試の歴史(2)」『大学進学研究』第40号、1985年11月、46-50頁
402. 「地域の技術史」『技術と教育』第177,178号合併号、1985年11月、15-16頁
403. 「臨教審の動向と技術・職業教育」『技術教育研究』第27号、1986年1月、33-36頁
404. 「大学入試の歴史(第5回) 白線浪人の発生」『大学進学研究』第41号、1986年1月、46-50頁
405. 「東京高等工業学校の入学者選抜制度の歴史」『名古屋大学教育学部紀要—教育学科』第32巻、1986年3月、213-229頁
406. 「大学入試の歴史(第6回) 白線浪人問題の結末」『大学進学研究』第43号、1986年5月、76-80頁
407. 「学校事故と子どもの人権」『ジュリスト総合特集No.43子どもの人権』1986年6月、100-105頁
408. 分担執筆(原正敏、鈴木芳夫、向山玉雄と共に著)「第8分科会技術・職業教育」日本教職員組合編『日本の教育第35集』一つ橋書房、1986年6月、193-215頁

409. シンポジウム「共通第一次試験とその手直しについて—臨教審の改革動向にもふれながら」、中部教育学会、第7号、1986年6月、3-5頁
410. 「高校職業教育をめぐる政策の最近の動向」日本高等学校教職員組合技術・職業教育検討委員会『技術・職業教育検討委員会中間報告』1986年6月、2-13頁
411. 「大学入試の歴史（第7回）高等教育への女子の進学(1)」『大学進学研究』第44号、1986年7月、70-75頁
412. 「技術・職業教育」日本子どもを守る会編『子ども白書1986年版』草土文化、1986年7月、273-276頁
413. 「『情報化』と教育をめぐる問題」『高教組時報』臨時号、1986年7月20日、55-63頁
414. 「職業教育」日本婦人団体連合会編『婦人白書1986』ホルプ出版、1986年9月、250-261頁
415. 「大阪高等工業学校の入学者選抜制度の歴史」『技術教育学研究』第3号、1986年9月、49-76頁
416. 「情報技術科・情報処理科の教育について」『技術教育学研究』第3号、1986年9月、129-159頁
417. 「大学入試の歴史（第8回）旧学制下の高等教育機関の入試」『大学進学研究』第45号、1986年9月、34-40頁
418. 「コンピュータ・情報化と教育」『教育』第472号、1986年10月、70-81頁
419. 「学校教育へのコンピュータの導入状況」『教育』第473号、1986年11月、127-129頁
420. 「最近の技術進歩と教育」『日高教情報』1986年11月1日
421. 隨想「受験機会複数に一来春からの国公立大学選抜幅が拡大」『日刊新愛媛』1986年11月5日、『鹿児島新聞』11月14日、『十勝毎日新聞』11月10日、『高知新聞』10月29日、「悔い残さぬよう全力で基礎学力つけよう」『岐阜日日新聞』11月8日、「目標しづきり基礎学力を一国公立大複数受験に備えて」『新潟新聞』11月6日
422. 「大学入試の歴史（第9回）女子高等師範学校の入試の歴史」『大学進学研究』第46号、1986年11月、47-51頁
423. 「普通科における職業基礎教育の充実を」『月刊高校教育』、1986年12月、34-37頁
424. 「大学入試の歴史（第10回）戦時体制下の入試(1)」『大学進学研究』第47号、1987年1月、62-66頁
425. 「技術・職業教育と生涯学習」『月刊社会教育』第364号、1987年2月、7頁
426. 「『情報化社会』論と教育におけるコンピュータ利用の問題」『婦人通信』第328号、1987年3月、33-37頁
427. 「大学入試の歴史（第11回）戦時体制下の入試(2)」『大学進学研究』第48号、1987年3月、52-56頁
428. 「学校教育へのコンピュータ教育導入の動向について」『名古屋大学教育学部紀要—教育学

科』第33巻、1987年3月、257-276頁

429. 書評「山脇与平『社会と教育と技術論』」『技術と教育』第189号、1987年4月、14-15頁
430. 「名古屋大学平和憲章の制定」『教育』第479号、1987年4月、113-117頁
431. 「大学入試の歴史（第12回）戦時体制下の入試(3)」『大学進学研究』第49号、1987年5月、88-91頁
432. 「高校職業教育をめぐる政策の最近の動向」日本高等学校教職員組合技術・職業教育検討委員会編『高校における技術・職業教育の発展のために』、1987年6月、5-21頁
433. 「最近の高校工業教育の動向と若干の問題」同上書、73-86頁
434. 「専修学校に関する政策と問題状況」同上書、120-134頁
435. 座談会「学校事故を考える」伊藤進・小早川光郎・星野英一・吉田螢一郎『ジュリスト』第886号、1987年6月1日号、4-19頁
436. 「情報化社会論と教育」『教育』第482号=第37巻7号、1987年7月、111-119頁
437. 「高等教育機関の組織・運営—岐路に立つ大学制度」『教育』第484号、1987年8月増刊、120-126頁
438. 「コンピュータをめぐる教育政策」『技術教室』No.422号、1987年9月、4-9頁
439. 公開講座「第6章学校のはたらき(2)—多様化と画一化」名古屋大学放送（ラジオ）公開講座委員会編『転換期の教育を考える』名古屋大学学生部、1987年9月、55-64頁
440. 「大学入試の歴史（第13回）捲土重来あるいは転進」『大学進学研究』第51号、1987年9月、61-65頁
441. 隨想「複数受験の問題二話」『中日新聞』、1987年9月16日、同9月30日
442. 共同研究『愛知の産業遺跡・遺物に関する調査報告』愛知の産業遺跡・遺物調査保存研究会編、1987年10月
443. 分担執筆（原正敏、鈴木芳夫、向山玉雄と共に著）「第8分科会技術・職業教育」日本教職員組合編『日本の教育第36集』一ツ橋書房、1987年10月10日、181-201頁
444. 「『情報化』と教育」手しごと・工作教育と子どもの発達を考える会編『コンピュータ時代と子どもの発達』大月書店、1987年11月、191-209頁
445. 「大学入試の歴史（第14回）新制大学入試はじまる(1)」『大学進学研究』第52号、1987年11月、67-71頁
446. 書評「田中萬年『わが国の職業訓練カリキュラム—課題と方法』」『教育学研究』第54巻第4号、1987年12月、61-62頁
447. 書評「多面的なアプローチ」全国商業教育研究協議会編『コンピュータと高校教育』『赤旗』1987年12月21日
448. 「高等学校制度研究の視角と方法—佐々木輝雄氏の高校職業教育研究についてのメモ」『学校の職業教育—中等教育を中心に—佐々木輝雄職業教育論集第一巻』多摩出版、1987年12月

21日、431-451頁

449. 「大学入試の歴史（第15回）新制大学入試はじまる(2)」『大学進学研究』第53号、1988年1月、61-64頁
450. 「高校職業教育は改善されるか」『教育』第492号、1988年2月増刊号、92-97頁
451. 「教育課程審議会の答申を考える—総論」『技術と教育』第196号、1988年2月、1-4頁
452. 昭和62年度科学研究費補助金（一般研究(B)）研究成果報告『わが国大学入学試験制度史の総合的調査研究—アーティキュレーション問題を中心に』1988年3月、114頁
453. 「中学校論研究について」日本教育学会教育制度研究委員会『現代社会における子どもの発達と教育制度改革原理の研究』1988年3月、115-122頁
454. 「高校の学科家庭科に関する覚書」『名古屋大学教育学部紀要—教育学科』第34巻、1988年3月、207-243頁
455. 「大学入試の歴史（第16回）新制大学入試はじまる(3)」『大学進学研究』第54号、1988年3月、60-64頁
456. 隨想「高校教育発足四〇周年」『高教組時報』第71号、1988年5月、1頁
457. 解説「大学入試をどうする—共通テストの狙い」『東奥日報』1988年5月11日(上)、12日(中)、13日(下)、『高知新聞』5月10日(上)、12日(下)、『徳島新聞』5月14日(上)、15日(中)、『熊本日日新聞』5月22日
458. 「大学入試の歴史（第17回）大学入試の性格」『大学進学研究』第55号、1988年5月、60-64頁
459. 監修「全国中学校ニ関スル諸調査全十二巻」『文部省教育統計資料集成 第Ⅱ期』大空社、1988年5月、「監修のことば」1-4頁
460. 隨想「教育の話題—新共通テスト導入の問題点」『前衛』第564号、1988年6月号、182-183頁
461. 「和田維四郎—鉱物学、地質調査事業の創始者」青少年育成福井県民会議編『若越山脈』第7集、1988年6月、57-84頁
462. 「教育における『情報化』論」藤岡貞彦、原正敏編『現代企業社会と生涯学習』大月書店、1988年6月、165-190頁
463. 「大学入試の歴史（第18回）学力検査科目をめぐる確執(1)」『大学進学研究』第56号、1988年7月、74-79頁
464. 「コンピュータをめぐる技術論—『情報化』論批判」『技術教育研究』第32号、1988年8月、1-4頁
465. 「展望をどう切り開くか—『技術と教育』に寄せる」『技術と教育』第200号記念特集号、1988年9月、3頁
466. 解説「情報化と教育」日本婦人団体連合会編『婦人白書1988』ホルプ出版、1988年9月、

467. 解説「アーティキュレーション」青木一他編『現代教育学事典』1988年10月25日、労働旬報社、1頁
468. 解説「学校安全」同上書、91頁
469. 解説「学校事故」同上書、104-105頁
470. 解説「共通第一次試験」同上書、235頁
471. 解説「勤労体験学習」同上書、243頁
472. 解説「高等学校」同上書、283-284頁
473. 解説「実業学校令」同上書、355頁
474. 解説「手工・工作」同上書、411頁
475. 解説「職業技術教育」同上書、435-436頁
476. 解説「推薦入学」同上書、457-458頁
477. 解説「総合技術教育」同上書、499-500頁
478. 解説「大学入試共通テスト」同上書、513頁
479. 解説「大学入試制度」同上書、513-514頁
480. 解説「中学校」同上書、543-544頁
481. 解説「中等教育」同上書、546-547頁
482. 解説「手島精一」同上書、561頁
483. 解説「連携制度」同上書、742頁
484. 解説「労作教育」同上書、744-745頁
485. 「大学入試の歴史（第19回）学力検査科目をめぐる確執(2)」『大学進学進学』第58号、1988年11月、72-75頁
486. 講演記録「最近の技術進歩と教育」日本高等学校教職員組合編『技術・職業教育の発展のために—第13回民主的高校教育シンポジウム』1988年11月、1-19頁
487. 解説（無署名）「性急なコンピュータ導入を危惧—情報化をめぐって」『日教組教育新聞』号外、1988年11月15日、8頁
488. インタビュー記事「もっと本を読んでほしい」『名古屋大学新聞』第698号、1988年11月24日
489. 解説「『教育』復刊五〇〇号記念のつどい」『教科研ニュース』No.86、1988年12月25日、4頁
490. 「大学入試の歴史（第20回）学力検査科目をめぐる確執(3)」『大学進学研究』第59号、1989年1月、63-67頁
491. 「情報化と教育」民主教育をすすめる国民連合編『第18回民主教育をすすめる国民大集会記録1988』、1989年2月、9-12頁
492. 分担執筆（原正敏、鈴木芳夫、向山玉雄と共に著）「第8分科会 技術・職業教育」日本教職員組合編『日本の教育第37集』一ツ橋書房、第37集、1989年2月22日、156-159頁

493. 「情報化、コンピュータと教育」教育科学研究会、山住正己・梅原利夫編『新学習指導要領をのりこえる』国土社、1989年3月、26-31頁
494. 「大学入試の歴史（第21回）学力検査科目をめぐる確執(4)」『大学進学研究』第60号、1989年3月、62-66頁
495. 「必修制、選択制について」『名古屋大学教育学部紀要－教育学科』第35巻、1989年3月、209-223頁
496. 鈴木隆司、川上純義と共に著 教育課程検討委員会編『改訂学習指導要領批判と私たちの課題 15 情報化と教育編 コンピュータは教育をかえるか』日本教職員組合、1989年4月15日、72頁
497. 「共通一次から新テストへ－入試における客観主義の功罪」『萤雪時代』第59巻第1号、1989年4月、162-166頁
498. 「大学入試の歴史（第22回）医・歯学部進学制度の改革」『大学進学研究』第61号、1989年5月、52-56頁
499. 「入試期日の周辺－究極の発明？<夏休みの宿題>」『萤雪時代』第59巻第3号、1989年5月、156-159頁
500. 「教育における情報化の現状と問題」日本科学者会議、科学・技術政策問題委員会『情報・技術』報告集（Ⅲ）、1989年5月、4-21頁
501. 「学力検査科目をめぐる“難題”－五教科五科目のルーツを発見」『萤雪時代』第59巻第4号、1989年6月、186-189頁
502. 分担執筆「情報化」（43-48頁）、「リクルート問題と高校教育」（48-50頁）、「実務の学習と科学的認識を切断する商業教育」（中の171-174頁）教育課程検討委員会編『すべての高校生に学び喜びを－改訂学習指導要領批判と私たちの課題・高校編』日本教職員組合、1989年6月
503. 「新学習指導要領と情報化、コンピュータをめぐる問題」『技術と教育』第206号、1989年6月、1-6頁
504. 「大学入試の歴史（第23回）進学適性検査の廃止と二次試験方式の登場」『大学進学研究』第62号、1989年7月、55-59頁
505. 「進適、能研、共通一次そして推薦入学－入学者選抜方法多様化の足どり」『萤雪時代』第59巻第5号、1989年7月、186-189頁
506. 討議資料「専修・各種学校の問題－現状と問われるもの」『第35回日本母親大会みんなの話合いのために』1989年8月、72-74頁
507. 課題研究報告「高校教育課程における実生活との結合と乖離と－『家庭一般』女子必修方式解体によせて－」、日本教育学会第48回大会、筑波大学、1989年8月30日
508. 「学習指導要領改訂と情報化、コンピュータをめぐる問題」、日本教育学会教育制度研究委

員会『教育課程と教師（1）－教育制度研究委員会報告第7集』1989年8月、68-73頁

509. 「大学入試多様化の時代－大学進学の機会を公平にするために」『蛍雪時代』第59巻第6号、1989年8月、188-191頁
510. 「合否の決め手は学力と意欲！大学の大衆化と大学入試の新時代」『蛍雪時代』第59巻第8号、1989年9月、186-189頁
511. 「大学入試の歴史（第24回）能研テスト－新たな共通試験」『大学進学研究』第63号、1989年9月、54-57頁
512. 「大学入試の歴史（第25回）大学入試における科目指定制の公認」『大学進学研究』第11巻第4号＝通巻第64号、1989年11月、63-67頁
513. 「情報処理教育と家庭科教育」『月刊家庭科研究』第59号、1989年11月、28-31頁
514. 「大学入試の歴史（第26回）動搖する学力検査科目－1966年以降の大学入試」『大学進学研究』第11巻第5号＝通巻第65号、1990年1月、52-56頁
515. 分担執筆（原正敏、鈴木芳夫、向山玉雄と共に著）「第8分科会技術・職業教育」日本教職員組合編『日本の教育第38集』一ツ橋書房、1990年1月15日、169-185頁
516. 「コンピュータの教育利用の有効性をめぐって」『日本の科学者』第25巻第2号、1990年2月、25-30頁
517. 解説「後期中等教育」『新教育学大事典』第3巻、第一法規、1990年2月、100-102頁
518. 解説「高校三原則」同上書、119-120頁
519. 解説「高等専門学校」同上書、159-160頁
520. 解説「高等専門学校設置基準」同上書、160-161頁
521. 解説「高等普通教育」同上書、164-165頁
522. 解説「実業学校」同上書、452-454頁
523. 解説「日本における六・三制」『新教育学大事典』第6巻、第一法規、1990年2月、572-574頁
524. 近藤義美・田中喜美と共に編著『新版技術科教育法』学文社、1990年3月20日、242頁
525. 「大学院の昼夜開講制について」『1988・1989年度教育方法等改善経費による報告書－大学院の昼夜開講と社会人受け入れに関する調査検討－』1990年3月、23-38頁
526. 「職業科と家庭科の『統一』－職業・家庭科の成立をめぐる評価について」『技術教育学研究』第6号、1990年3月、1-37頁
527. シンポジウムにおける提案「高校教育課程における実生活との乖離と－『家庭一般』女子必修方式解体によせて」『教育学研究』第57巻第1号、1990年3月、82-85頁
528. 「高校教育課程における実生活との乖離と－『家庭一般』女子必修方式解体によせて」『名古屋大学教育学部紀要－教育学科』第36巻、1990年3月、269-287頁
529. 「大学入試の歴史（第27回）大学紛争と大学入試（1）」『大学進学研究』第66号、1990年3

月、54-57頁

530. 「大学入試の歴史（第28回）大学紛争と大学入試（2）」『大学進学研究』第67号、1990年5月、54-57頁
531. 「大学入試の歴史（第29回）推薦入学制度の公認」『大学進学研究』第68号、1990年7月、72-75頁
532. 「現代技術教育研究運動の課題を考える」『技術教育研究』第36号、1990年8月、14-17頁
533. 「家庭科教育の現代史と雑誌『家庭科教育』」復刻版『家庭科教育』別巻、大空社、1990年9月（横山悦生と共に著）、1-239頁
534. 「教育におけるコンピュータとソフトウェア」『教育学研究』第57卷第3号、1990年9月、24-31頁
535. 「大学入試の歴史（第30回）推薦入学の増大と多様化」『大学進学研究』第70号、1990年11月、56-61頁
536. 分担執筆（村瀬重治と共に著）「第8分科会技術・職業教育」日本教職員組合編『日本の教育第39集』一ツ橋書房、1990年11月2日、173-189頁
537. 「大学入試の歴史（第31回）夜学の歴史」『大学進学研究』第71号、1991年2月、62-66頁
538. 「家庭科教育史の研究と論文作成の技法—〈家庭科教育の現代史と雑誌『家庭科教育』〉執筆の経験から」『技術教育学研究』第7号、1991年3月、1-42頁
539. 講演「高等学校教育の課題と展望」『大阪市立高等学校教育研究会』1991年3月、2-13頁
540. 「家庭科教育の昭和史とともに生きる—宮原小治郎小伝第一部あるジャーナリストの生き立ち（一）」『家庭科教育』第65卷第5号、1991年4月、84-87頁
541. 「家庭科教育の昭和史とともに生きる—宮原小治郎小伝第一部あるジャーナリストの生き立ち（二）」『家庭科教育』第65卷第6号、1991年5月、86-89頁
542. 「転機に立つ大学、専修学校—現状と問われるもの」『ねがいを力にいのちの花ひらく—第37回日本母親大会討議資料』日本母親大会連絡会、1991年5月、52-55頁
543. 「大学入試の歴史（第32回）新制大学の夜間部」『大学進学研究』第72号、1991年5月、66-70頁
544. エッセイ「中教審答申を読む—大学入試」『赤旗』1991年5月14日
545. 「家庭科教育の昭和史とともに生きる—宮原小治郎小伝第一部あるジャーナリストの生き立ち（三）」『家庭科教育』第65卷第7号、1991年6月、84-87頁
546. 「高校職業教育の諸問題」現代職業訓練研究会編『現代職業能力開発セミナー』社団法人雇用問題研究会、1991年6月、151-180頁
547. 分担執筆（原正敏、鈴木芳夫、向山玉雄と共に著）「技術・職業教育」1990年度教育研究全国集会実行委員会編『日本の民衆教育'91』1991年6月25日、労働旬報社、193-195頁
548. 「大学入試の歴史（第33回）大学入試における身体検査(1)」『大学進学研究』第73号、1991

年7月、68-71頁

549. 「家庭科教育の昭和史とともに生きる—宮原小治郎小伝第一部あるジャーナリストの生い立ち(四)」『家庭科教育』第65巻第8号、1991年7月、91-94頁
550. (無署名)「情報化と教育」日本の子どもを守る会編『子ども白書1991年版』草土文化、1991年8月、309-313頁
551. 「家庭科教育の昭和史とともに生きる—宮原小治郎小伝第一部あるジャーナリストの生い立ち(五)」『家庭科教育』第65巻第10号、1991年8月、96-99頁
552. 「高等学校はどのように生まれたか」『季刊高校のひろば』創刊号、労働旬報社、1991年9月、50-61頁
553. 「家庭科教育の昭和史とともに生きる—宮原小治郎小伝第一部あるジャーナリストの生い立ち(六)」『家庭科教育』第65巻第11号、1991年9月、88-91頁
554. 「大学入試の歴史(第34回) 大学入試における身体検査(2)」『大学進学研究』第74号、1991年9月、70-73頁
555. 「家庭科教育の昭和史とともに生きる—宮原小治郎小伝第一部あるジャーナリストの生い立ち(七)」『家庭科教育』第65巻第12号、1991年10月、92-95頁
556. 分担執筆(福原美江・半田たつ子と共に著)「第9分科会 技術・家庭科教育」日本教職員組合編『日本の教育 第40集』一ツ橋書房、1991年10月28日、191-220頁
557. 「家庭科教育の昭和史とともに生きる—宮原小治郎小伝第一部あるジャーナリストの生い立ち(八)」『家庭科教育』第65巻第13号、1991年11月、84-87頁
558. 「家庭科教育の昭和史とともに生きる—宮原小治郎小伝第一部あるジャーナリストの生い立ち(九)」『家庭科教育』第65巻第14号、1991年12月、86-89頁
559. 「大学入試の歴史(第35回) 大学入試における身体検査(3)—大学入試における色覚異常者の扱いー」『大学進学研究』第75号、1991年12月、66-69頁
560. 「家庭科教育の昭和史とともに生きる—宮原小治郎小伝第一部あるジャーナリストの生い立ち(十)」『家庭科教育』第66巻第1号、1992年1月、78-81頁
561. 「家庭科教育の昭和史とともに生きる—宮原小治郎小伝第一部あるジャーナリストの生い立ち(十一)」『家庭科教育』第66巻第2号、1992年2月、84-87頁
562. 「大学入試の歴史(第36回) 大学入試における身体検査(4)」『大学進学研究』第76号、1992年2月、71-75頁
563. 「家庭科教育の昭和史とともに生きる—宮原小治郎小伝第一部あるジャーナリストの生い立ち(十二)」『家庭科教育』第66巻第3号、1992年3月、86-89頁
564. 「高校における男女共学の現状と家庭科」『名古屋大学教育学部紀要—教育学科』第38巻、1992年3月、113-126頁
565. 「高校の学科多様化の新たな様相」『季刊高校のひろば』第3号、1992年3月、52-65頁

566. 「家庭科教育の昭和史とともに生きる—宮原小治郎小伝第二部『家事及裁縫』とともに(一)」
『家庭科教育』第66巻第5号、1992年4月、86-89頁
567. 「家庭科教育の昭和史とともに生きる—宮原小治郎小伝第二部『家事及裁縫』とともに(二)」
『家庭科教育』第66巻第6号、1992年5月、85-88頁
568. 「家庭科教育の昭和史とともに生きる—宮原小治郎小伝第二部『家事及裁縫』とともに(三)」
『家庭科教育』第66巻第7号、1992年6月、94-97頁
569. 日本教育学会創立50周年・中部教育学会創立40周年記念シンポジウム報告「中等教育はわれわれにとって何だったか」『中部教育学会』1992年6月、3-4頁
570. 「家庭科教育の昭和史とともに生きる—宮原小治郎小伝第二部『家事及裁縫』とともに(四)」
『家庭科教育』第66巻第8号、1992年7月、88-91頁
571. 「大学入試の歴史(第37回)予備校の歴史(1)—予備校の発生—」『大学進学研究』第78号、
1992年7月、63-67頁
572. 解説「刊行にあたって」『文部省著作 家庭科教科書』〔復刻版集成〕、大空社、1992年7月2
3日、1-3頁
573. 解説「高等専門学校」細谷俊夫他編『新教育学大事典』第3巻、1992年7月31日、第一法規
出版、159-160頁
574. 解説「高等専門学校設置基準」、同上、160-161頁
575. 解説「高等普通教育」、同上、164-165頁
576. 「家庭科教育の昭和史とともに生きる—宮原小治郎小伝第二部『家事及裁縫』とともに(五)」
『家庭科教育』第66巻第10号、1992年8月、98-101頁
577. 「情報化と学校」日本子どもを守る会編『子ども白書'92』1992年8月、202-203頁
578. 「新しい高校教育多様化政策の問題点と可能性」『日高教新聞』第32号、1992年8月1・15日
579. 「大学入試の歴史(第38回)予備校の歴史(2)—予備校の起源ア・ラ・カルトー」『大学進学
研究』第79号、1992年9月、63-67頁
580. 「家庭科教育の昭和史とともに生きる—宮原小治郎小伝第二部『家事及裁縫』とともに(六)」
『家庭科教育』第66巻第11号、1992年9月、92-95頁
581. 分担執筆(福原美江、田中喜美、村田泰彦と共に著)「第8分科会技術・家庭科教育」日本教
職員組合編『日本の教育第41集』1992年9月3日、一ツ橋書房、179-205頁
582. 「家庭科教育の昭和史とともに生きる—宮原小治郎小伝第二部『家事及裁縫』とともに(七)」
『家庭科教育』第66巻第12号、1992年10月、78-81頁
583. 「家庭科教育の昭和史とともに生きる—宮原小治郎小伝第二部『家事及裁縫』とともに(八)」
『家庭科教育』第66巻第13号、1992年11月、89-92頁
584. 「ロシアの技術・職業教育の現況—1992年春のハバロフスク教育視察の概要」『技術教育研
究』第40号、1992年8月、22-33頁

585. エッセイ 「『技術教育研究』の20年に寄せて」『技術教育研究』第40号、1992年8月、2-3頁
586. 「新たな『高校教育多様化政策』は何をもたらすか—高校教育改革推進会議報告への批判」
『文化評論』No.382、1992年11月号、73-82頁
587. 「中等教育の多様化—中等教育の民主主義的性格との関連で」『ほんりゅう』第10巻第11号、
1992年12月、13-17頁
588. 「家庭科教育の昭和史とともに生きる—宮原小治郎小伝第二部『家事及裁縫』とともに(九)」
『家庭科教育』第66巻第15号、1992年12月、83-86頁
589. 「専門教育充実のための討論をおこそー改訂学習指導要領の実施へ向けて」『技術と教育』
第235号、技術教育研究会、1993年1月、1-4頁
590. 書評「男女共学制の最初の本格的研究—橋本紀子『男女共学制の史的研究』」『教育』第43巻
第1号=通巻第557号、国土社、1993年1月、78-80頁
591. 「家庭科教育の昭和史とともに生きる—宮原小治郎小伝第二部『家事及裁縫』とともに(10)」
『家庭科教育』第67巻第1号、1993年1月、99-102頁
592. 「家庭科教育の昭和史とともに生きる—宮原小治郎小伝第二部『家事及裁縫』とともに(11)」
『家庭科教育』第67巻第2号、1993年2月、97-100頁
593. シンポジウム「高校教育の改革と職業教育の課題—日本教育学会第51回大会特別シンポジウムの記録」(北海道大学教育学部産業教育計画研究施設研究報告書第41号)『産業と教育』第11号、1993年2月、143-184頁
594. 「大学入試の歴史(第39回) 予備校の歴史(3) —予備校のア・ラ・カルト」『大学進学研究』第14巻第5号=通巻第81号、大学進学研究会、1993年2月、65-69頁
595. エッセイ 「お別れのことば(東正彦さんを悼む)」『技術と教育』第236号、1993年2月、13頁
596. 「家庭科教育の昭和史とともに生きる—宮原小治郎小伝第二部『家事及裁縫』とともに(12)」
『家庭科教育』第67巻第3号、1993年3月、93-99頁
597. 「公的職業資格、技能検定の社会的性格と高校職業教育」『技術教育学研究』第8号、名古屋
大学教育学部技術教育学研究室、1993年3月、1-16頁
598. 「改革の道を模索するロシアの技術教育—1992年春のハバロフスクの学校視察印象記」『技
術教育学研究』第8号、名古屋大学教育学部技術教育学研究室、1993年3月、99-147頁
599. 「家庭科男女共学の理論のために」『月刊家庭科研究』第100号、家庭科教育研究者連盟、
1993年4月、20-23頁
600. 「労働・職業的発達と公的職業資格、技能検定」『教育と医学』第41巻第4号=No.478、慶應
通信、1993年4月、25-32頁
601. 「大学入試の歴史(第40回) 共通試験の時代(1)」『大学進学研究』第15巻第1号=通巻第
82号、大学進学研究会、1993年5月、64-67頁
602. エッセイ 「1992年度教研全国集会から」『技術と教育』第239号、1993年6月、11-12頁

603. 関部智雄、鈴木芳夫、向山玉雄と共同執筆「分科会報告技術・職業教育」1992年度教育研究
全国集会実行委員会『日本の民主教育 '93』労働旬報社、1993年7月、149-158頁
604. 「大学入試の歴史（第41回）共通試験の時代（2）」『大学進学研究』第15巻第2号＝通巻第83
号、大学進学研究会、1993年7月、53-57頁
605. 「改訂教育課程の実施と新学力観」技術教育研究会第26回全国大会における記念講演、於犬
山市、1993年8月3日
606. 解説「高等学校」『現代学校教育大事典』第3巻、ぎょうせい、1993年8月、93-95頁
607. 解説「高等学校専攻科」同上書、97-98頁
608. 解説「高等学校別科」同上書、98-99頁
609. 解説「高等普通教育」同上書、111-112頁
610. 解説「職業課程」同上書、第4巻、1993年8月、182-183頁
611. 解説「専門教育」同上書、505-506頁
612. 解説「専門教育科目」同上書、506-507頁
613. 解説「普通科」同上書、第6巻、1993年8月、68-69頁
614. 解説「普通教育」同上書、69-71頁
615. 「高等学校の教育課程表作成過程に関する実証的研究（第1報）」『名古屋大学教育学部紀要－
教育学科』第40巻第1号、1993年9月、185-213頁、坂口謙一、森川治人と共に著
616. 「改訂教育課程の実施と新学力観」『技術と教育』第241・242号、技術教育研究会、1993年10
月、6-10頁
617. 「工業高校における教育課程の編成過程」日本産業教育学会第34回大会、於杏林大学、1993
年10月31日
618. エッセイ「教育課程編成過程の民主化を－実態調査から」日高教新聞（号外）、1993年11月22
日
619. 「大学入試の歴史（第42回）共通試験の時代へ（3）」『大学進学研究』第15巻第4号＝通巻第
85号、大学進学研究会、1993年11月、57-60頁
620. 「高校教育改革の現段階」『季刊教育法』第95号、エイデル研究所、1993年12月、6-11頁
621. エッセイ「大学入試改革断想」『大学と教育』第10号、東海教育研究所、1994年2月10日、2-
3頁
622. 「大学入試の歴史（第43回）共通試験の時代へ（4）」『大学進学研究』第15巻第5号＝通巻第
86号、大学進学研究会、1994年2月、56-59頁
623. 「いま高校普通科に問われているもの」『高校のひろば』第11号、1994年3月5日、23-28頁
624. 「現代日本の技術教育、職業教育の概要－技術教育、職業教育の用語に関する覚書－」平成
5年度科学研究費補助金総合研究(A)学校の技術・職業教育と学校外の職業教育・訓練の関
係について国際比較研究研究成果報告書、1994年3月、61-89頁

625. 「高等学校の教育課程作成過程に関する実証的研究－事例報告集 I－」佐藤史人共著『技術教育学研究』第9号、名古屋大学教育学部技術教育学研究室、1994年3月、61-134頁
626. 「大学入試の歴史（第44回）共通試験の時代へ（5）」『大学進学研究』第16巻第1号＝通巻第87号、大学進学研究会、1994年5月、60-63頁
627. 「大学入試の歴史（第45回）共通試験の時代へ（6）」『大学進学研究』第16巻第2号＝通巻第88号、大学進学研究会、1994年7月、66-69頁
628. 「環境と教育－材料を中心に」沖猛雄編『暮らしと新材料』日刊工業新聞社、1994年7月、27-36頁
629. 「技術教育は単なる技術の教育か社会的経済的知識を必要とするものか」『教職研修・教育課程の論争点』1994年7月、208-209頁
630. 「色覚異常者への差別解消をめざして」『保健室』No.52、1994年8月、66-68頁
631. 「大学入試の歴史（第46回）共通試験の時代へ（7）」『大学進学研究』第16巻第3号＝通巻第89号、大学進学研究会、1994年9月、55-58頁
632. 「高等学校の教育課程表作成過程に関する実証的研究（第2報）」（坂口謙一、佐藤史人、森川治人と共著）『名古屋大学教育学部紀要－教育学科』第41巻第1号、1994年9月、139-149頁
633. 「学生生活変化と入学試験制度の改革」『稿本名古屋大学五十年史』十、1994年9月、95-119頁
634. 「高校職業教育のカリキュラム開発に関する実証的研究－工業科の教育課程の編成過程」『悠峰職業科学研究紀要』第2巻、1994年9月、59-64頁
635. 近藤義美・田中喜美と共に『改訂版技術科教育法』学文社、1994年10月10日、238頁
636. 「大学入試の歴史（第47回）共通試験の時代へ（8）」『大学進学研究』第16巻第4号＝通巻第90号、1994年11月、63-67頁
637. 「教職員・学生（教官・職員・学生・院生）」『稿本名古屋大学五十年史』七、1994年11月、109-142頁
638. 連載「（博物館めぐり-1） 東京国立博物館」『技術と教育』第251号、1994年11月、11-12頁
639. 「充実していた報告・討論（日本産業教育学会第35回大会報告）」『産業教育学研究』第25巻第1号、1995年1月、39-40頁
640. 「高校教育改革の現段階」『技術教育研究』第45号、1995年1月、85-96頁
641. 講演記録「高校教育改革の現段階（1994.8.12.学習討論集会報告）」『長崎高教組新聞』号外320号、1995年3月20日
642. 連載「（博物館めぐり-2） 内藤記念・くすり博物館」『技術と教育』第255号、1995年3月、10-12頁
643. 「カリキュラム研究における実証的性格について－研究方法の問題に寄せて－」『カリキュ

ラム研究』第4号、1995年3月、3-13頁

644. 連載「(博物館めぐり-3) 国立民族学博物館、日本民芸館」『技術と教育』第256号、1995年4月、11-12頁
645. 講演記録「高校改革」と子供の未来』『第40次教研集録』(三重県南勢地区高等学校教育振興会) 1995年5月、9-29頁
646. 「高校教育改革の現段階—1994年」『名古屋大学教育学部紀要—教育学科』第41巻第2号、1995年3月、175-190頁
647. 書評「米田俊彦著『教育審議会の研究中等教育改革』」日本教育政策学会年報第2号『教育政策の戦後50年を問う』1995年6月、195-197頁
648. 連載「(博物館めぐり-4) 文房具資料館、文具資料館、紙の博物館」『技術と教育』第258号、1995年6月、9-10頁
649. 分担執筆(田中喜美、幡野憲正と共に著)「第10分科会技術・職業教育」日本教職員組合編『日本の教育第44集』一ツ橋書房、1995年7月、232-236頁
650. 分担執筆(隈部智雄・小林民憲・鈴木芳夫と共に著)「技術・職業教育」1994年度教育研究全国集会実行委員会編『日本の民主教育'95—1994年度教育研究全国集会報告』労働旬報社、1995年7月、138-145頁
651. エッセイ「戦後50年と技術・職業教育」『技術教育研究』第46号、1995年8月、1-4頁
652. 「新学校制度の発足と高学歴化」『教育と医学』第43巻第8号=通巻第506号、1995年8月、11-17頁
653. シンポジウム「近代化遺産と産業建築」(清水真一・馬場俊介・佐々木享・司会=小寺武久)『建築史学』第25号、1995年9月、91-118頁
654. 「高校職業教育のこれから」『高校のひろば』第17号、1995年9月、4-52頁
655. 連載「(博物館めぐり-5) 塩をめぐる博物館」『技術と教育』第263号、1995年11月、11-12頁
656. 連載「(博物館めぐり-6) 江戸村、明治村、日本大正村」『技術と教育』第264号、1995年12月、12-13頁
657. 編著『日本の教育課題8 普通教育と職業教育』東京法令出版、1996年1月、604頁